

■コメント

1. インフルエンザ

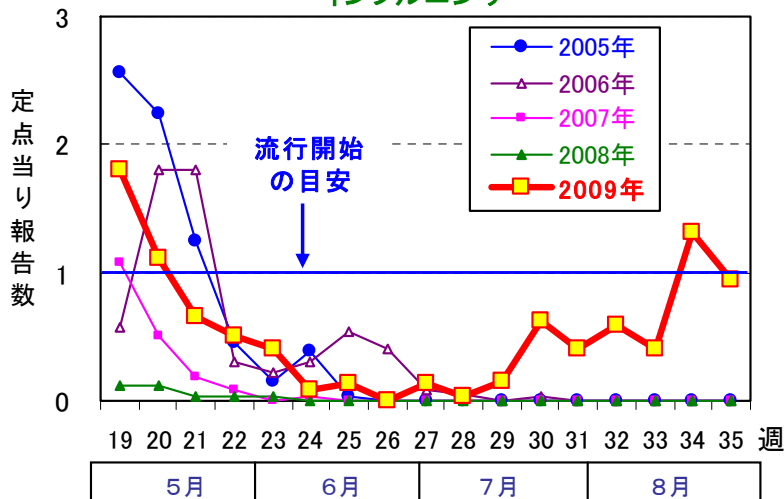
定点当たり0.95人とやや減少しましたが、この時期のインフルエンザ報告数としてはかなり多い状況が続いています。今後の流行予測は困難な状況ですが、新学期が始まり、新型インフルエンザが急増する可能性がありますので、引き続き手洗い・うがいなどの感染予防対策に努めるとともに、今後の動向に注意が必要です。

なお、夏休み後、新型インフルエンザによるとみられる休校等の措置が5件報告されました(8月31日現在)。

2. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は25件となりました。腸管出血性大腸菌は、熱には弱いですが、感染力が強く、わずか数十個でも感染すると考えられていますので、手洗いの励行に心がけるとともに、生肉などの食品の取扱いには十分注意する必要があります。

インフルエンザ



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	35	0.95	-	◀	ヘルパンギーナ	69	2.88	0.68	◀
咽頭結膜熱	6	0.25	0.34		流行性耳下腺炎	22	0.92	0.58	▶
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	12	0.50	0.59		RSウイルス感染症	-	-	0.02	
感染性胃腸炎	73	3.04	3.82	▶	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
水痘	9	0.38	0.47	▶	流行性角結膜炎	2	0.25	0.63	
手足口病	13	0.54	0.64	▶	細菌性髄膜炎	1	0.14	0.03	
伝染性紅斑	2	0.08	0.19		無菌性髄膜炎	-	-	0.26	
突発性発しん	17	0.71	1.08		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.26	
百日咳	2	0.08	0.10		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況(新型インフルエンザを除く)

類型	疾患名	報告数	累積	備考
2	結核	2	141	女性(30歳代)・1人、男性(70歳代)・1人
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	25	男性(30歳代)・O157

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第31週 第32週 第33週 第34週 第35週	インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感 染 性 胃 腸 炎	水 痘	手 足 口 病	伝 染 性 紅 斑	突 発 性 発 し ん	百 日 咳	ヘル パ ン ギ ー ナ	流 行 性 耳 下 腺 炎	RS ウ ィ ル ス 感 染 症	急 性 出 血 性 結 膜 炎	流 行 性 角 結 膜 炎	細 菌 性 髄 膜 炎	無 菌 性 髄 膜 炎	マイ コ プ ラ ズ マ 肺 炎	クラ ミ ジ ア 肺 炎
報告数	広島市	第31週	15	4	17	84	25	18	3	18	5	96	36	6	-	7	1	-	2	-
		第32週	22	5	12	83	10	25	3	21	4	101	29	5	-	6	1	-	2	-
		第33週	15	4	18	55	18	25	1	17	3	95	17	1	-	6	2	4	2	-
		第34週	49	5	6	76	15	21	3	19	5	76	39	-	-	12	-	1	1	-
		第35週	35	6	12	73	9	13	2	17	2	69	22	-	-	2	1	-	2	-
定 点 当 り	広島市	第31週	0.41	0.17	0.71	3.50	1.04	0.75	0.13	0.75	0.21	4.00	1.50	0.25	-	0.88	0.14	-	0.29	-
		第32週	0.59	0.21	0.50	3.46	0.42	1.04	0.13	0.88	0.17	4.21	1.21	0.21	-	0.86	0.14	-	0.29	-
		第33週	0.41	0.17	0.75	2.29	0.75	1.04	0.04	0.71	0.13	3.96	0.71	0.04	-	0.75	0.29	0.57	0.29	-
		第34週	1.32	0.21	0.25	3.17	0.63	0.88	0.13	0.79	0.21	3.17	1.63	-	-	1.50	-	0.14	0.14	-
		第35週	0.95	0.25	0.50	3.04	0.38	0.54	0.08	0.71	0.08	2.88	0.92	-	-	0.25	0.14	-	0.29	-
	全国	第33週	1.69	0.18	0.44	2.21	0.53	1.24	0.07	0.56	0.02	1.81	0.68	0.09	0.01	0.47	0.02	0.06	0.39	0.02
		第34週	2.47	0.19	0.52	2.97	0.56	1.29	0.10	0.70	0.03	1.58	0.81	0.10	0.01	0.68	0.02	0.03	0.33	0.03

■ 新たに判明した病原体検出状況 (新型インフルエンザの検査結果は下表のとおり)

診断名	患者 年齢	性別	発症 年月日	検査材料	検出病原体
咽頭結膜熱	1	男	2009/07/10	咽頭拭い液	アデノウイルス2型
咽頭結膜熱	4	女	2009/07/08	咽頭拭い液 糞便	アデノウイルス2型
咽頭結膜熱	0	女	2009/07/11	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
感染性胃腸炎	3	女	2009/06/20	糞便	アデノウイルス3型
百日咳	6	女	2009/07/05	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
百日咳	4	男	2009/07/21	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/07/19	糞便	コクサッキーウイルスA9型
その他の疾患(不明熱/熱性疾患)	0	男	2009/07/22	鼻汁(拭い液)	ヒトメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

■ 広島市における新型インフルエンザ発生状況(PCR検査確定例)

第35週

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	1	6						1	8
クラスターサーベイランス	1	3							4
入院サーベイランス									0
合 計	2	9	0	0	0	0	0	1	12

2009年累計(7月24日以降)

サーベイランスの種類	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
病原体サーベイランス	2	16	4					1	23
クラスターサーベイランス	4	4	3						11
入院サーベイランス		2		1					3
合 計	6	22	7	1	0	0	0	1	37

- ・すべて広島市衛生研究所のPCR検査による確定例です。
- ・病原体サーベイランスは、病原体定点において原則ランダムにインフルエンザ様疾患の患者の検体を検査するものです。
- ・クラスターサーベイランスは、新型インフルエンザの集団発生を早期に把握する目的で、その集団内の患者の検体を検査するものです。
- ・入院サーベイランスは、新型インフルエンザによる重症者の発生動向を把握するなどの目的で、入院患者の検体を検査するものです。
- ・病原体サーベイランスやクラスターサーベイランスの患者で入院した場合は、入院サーベイランスに計上します。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。
 なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.jp

2009年第35週(8月24日～8月30日)